

内閣府は、事前防災や人命救助での防災のデジタル化推進に向けた課題

防災分野のデジタル化 5月にも提言まとめ

内閣府



足立議員は、防災分野のデジタル化の取り組み状況を質問。内閣府は「2018年度から各種災害情報を電子地図上に

の整理、施策の検討を進めており、5月にもワーキンググループによる提言がまとまるとした。23日の参院災害対策特別委員会で足立敏之参院議員は写真の質問に答えた。

足立議員は、防災分野のデジタル化の取り組み状況を質問。内閣府は「2018年度から各種災害情報を電子地図上に

一元化するSIP4Dを活用している」「令和2年7月豪雨では同システムを活用してISUTを派遣。孤立集落の位置、道路・電力の復旧状況などを電子地図で関係機関と共有し、孤立集落の解消、ライフラインの復旧、被災者支援に寄与した」と答えた。

さらに、事前防災や人命救助のデジタル化推進に向けて、2020年12月に有識者からなるデジタル防災技術ワーキンググループを設置、課

題の整理を進めていると

した。

小此木八郎防災担当大臣は、「関係省庁と連携しつつデジタル技術活用のさらなる高度化を図っていく」と述べた。

足立議員は「3次元基盤データなどの情報とも共有化できるシステムの開発を考えてほしい」と結んだ。

内閣府は、事前防災や人命救助での防災のデジタル化推進に向けた課題